

平成 29 年度「提案公募型事業」申請書類(2)
< 受 託 申 請 書 >

| | | | | | | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|--------------------|---|---|---|---|---|---------------------------|
| ふりがな 団体名 | 港町手芸部 | | | | | | | |
| ふりがな 代表者名 | みやた あすか 宮田 明日鹿 | | | | | | | |
| 募集期間 (該当を○で囲む) | 第1期 / 第2期 | | | | | | | |
| 事業の分野・テーマ (該当に●印・複数可) | ● | 【○】心地よく安心な港まちで暮らす | | | | | | 公募要領の 「2委託対象 事業」を参照 |
| | | 【△】魅力的でにぎやかな港まちに集う | | | | | | |
| | ● | 【□】みんなと港まちを創る | | | | | | |
| 提案事業名 | 港町で培われた手芸文化を発掘する会 | | | | | | | |
| 希望金額=A ※5ページ・6ページの Aと同額を記入 | | 4 | 7 | 0 | 0 | 8 | 0 | 円 |
| 期間 (準備～事業終了日) | 平成 29 年 6 月 1 日 ~ 平成 30 年 1 月 30 日 | | | | | | | |

【提案事業の計画】 ※ 簡潔かつ具体的に記入してください。

(1) 事業の目的・見込まれる成果

上記で選択した事業の分野・テーマ(○・△・□)について、具体的にどのような目的を持ち、どのような成果を見込む事業であるか、詳細に記入。

みんなと港まちを創る・・・
2016年3月、4月に、港町にスタジオプロジェクトで参加し、作品制作をボタンギャラリーと、ポットラックビルでしました。その時に出会った、手芸、編み物の達人の作るものに、驚きをもちました。手芸文化の民間伝承を文化人類学視点からひも解き、その文化を残していくことでこの町の文化資産にもなり、その技術や作ったものに焦点を当てて、手芸文化の伝承をし、文化を創ります。

心地よく安心な港まちで暮らす・・・
手芸部を作ることによって、港まちに住む異世代の交流を可能にします。手芸の得意な方と、それを習いたい方が出会う場所を作ったら、手芸を通して、文化が発展して人との交流が可能になると考えました。

そして、手芸文化に特化して、技術の交換、継承、引き継ぎなどを目指します。
港町には、昔手芸店が多かったと聞きました。その名残もあり、長年この町に住むかたの話を聞いたりすると、みなさん手芸は得意で洋服や、セーターなどを作れる方がたくさんいます。なので、先人の生活の知恵を活かす試みをしていきます。

(2) 事業の概要

①週1回程度の手芸部を町の方を講師にして開催します。
②手芸部は前期と後期に分けてそれぞれに開催します。
③総括としてみなと町での手芸文化の成り立ちや部活動の様子や、参加者の方の作品などを写真と、作品で展示発表する場を設けます。
④手芸を通して様々な歳の方との交流の機会を育みます。

(3) 事業の具体的な内容と方法〔内容、実施日・実施場所、想定参加者等〕

1. 内容

前期、後期と分けて、港町に住む方を講師に手芸部を開催します。

講師：前期：行田さん 6月-8月 後期：豊田さん 9月-11月

<講師について>

行田さんは手芸店を営まれていて、今でも現役で編み物の仕事をたまにされていて、かぎ針、棒針、針仕事、多岐に渡ってのプロなので、講師をお願いしました。

豊田さんはセーターをたくさん作られていて、こだわったセーターの作り方などをしているので、講師をお願いしました。

参加者の技量に合わせて部活動らしく、自主的にしたいことを探して作る楽しさを忘れずに、部活動を行っていきます。

<道具や材料について>

講師の行田さんの道具をお借りします。それ以外に必要なものは購入したりします。

材料は、企画者の宮田の仕事のつながりで、家に眠る毛糸などを譲りうけたものも材料として使用します。それ以外に必要な場合は、参加者の方が個々で購入します。

2. 実施日・実施場所(屋外で実施する場合は、雨天時の対応も記入してください。)

6月から11月に部活動を実施。

週に1回開催。開催曜日 土曜日か、平日で固定。時間は2時間くらいの予定。

12月からは展示の準備をします。

「港町の手芸文化について」という写真を含めた展示をする予定です。

講師の豊田さん、行田さんの作ったものの写真や、港町の手芸屋さんの名残の風景道具、港町の手芸に関する話をまとめた内容の予定です。

3. 想定参加者人数・参加者層

定員5名程度の少人数制 x 24回

参加者層

20代から90代の手芸を楽しみたい方々。

* 中学生以下の子供については要相談

(4) 広報手段

- ・西築地学区を中心にチラシを配布し、地域住民から参加者を募集します。
 - ・学区商店や地域活動をされている方を通じて、この活動に関心のある方を募ります。
 - ・港まちづくり協議会の各事業においても周知を依頼し、広報協力を得ます。
- ・成果展示発表について
上記 + 企画者、宮田のHP や SNS で宣伝します。

(5) 事業のスケジュール(準備～実施～実施後の実施運営スケジュール)

4月、5月 講師の方と打ち合わせ、活動場所を探す。
6月 行田さん講師での前期開始 部活動開始 週に1回
8月末 前期終了
候補場所 : 港まちポットラックビル

9月 豊田さん講師での後期開始 週に1回
11月 後期終了
候補場所 : 港まちポットラックビル

12月 展示準備開始
1月 展示開始

*6月から写真家の江本さん、人類学者の木田さん、デザイナーの方と会議開始月に1回。
場所 宮田のスタジオ使用

(6) 事業の運営体制(スタッフの役割・人数や委託外注の活用等による運営体制、地域との連携など)

企画者 1名
撮影記録 1名
広報担当 2名(地域に住む方をお願いします。)
会計 1名

人類学者の方に港町の手芸文化を調査し、文章をまとめるうえでアドバイザーとして入っていただきます。
チラシ作成でデザイナーに依頼。

【事業のアピール】

次の各項目は審査基準と同じで、審査の判断材料となります。事業のアピールポイントを具体的に箇条書きで記入して下さい。(公募要領の12の審査基準の欄を参照してご記入ください。)

(1) 実現可能性

昨年から港まちにスタジオプロジェクトに関わり、手芸の達人と出会いお話しをしたりしていたので、そのうえで講師の了承をしてもらうことができました。
4月に制作場所を浜1丁目に構えたことで、町に住む方々と出会い、20代のお母さん方に手芸部の話しをしたところ、そういう機会があればぜひ参加したいとの声を頂きました。
また手芸部の構成メンバーとして町に住む、金子さん、井村さんに協力してもらえることになったのも実現可能の大きな要因となりました。

(2) 積算の妥当性

講師の方、写真家の方、アドバイザーの方にもボランティア的協力が得られるため安価である。
また、スタッフを企画者にしたことで、人件費を抑えています。
最低限の必要経費のなかでの事業計画を構築しました。

(3) 公益性・社会貢献性

手芸をながくされてきた方の知恵や技術を活かし、民間伝承をすることで、文化の形成を図ります。
手芸ということを通して、港まちで形成されてきた手芸文化を人類学的観点でひも解くことで、港まちの文化度を高めます。
また、部活動をつくることでいろんな世代の交流の場を作ります。

(4) テーマとの整合性

みんなと港まちを創る・・・
手芸文化の民間伝承を文化人類学視点からひも解き、その文化を残していくことでこの町の文化資産にもなり、その技術や作ったものに焦点を当てて、手芸文化の伝承をし、文化を創ります。
心地よく安心な港まちで暮らす・・・
手芸部を作ることによって、港まちに住む異世代の交流を可能にします。手芸の得意な方と、それを習いたい方が出会う場所を作ったら、手芸を通して、文化が発展して人との交流が可能になると考えました。

(5) 将来性

港町に住む方が自発的に部活動やクラブ活動を作るきっかけや、続けるきっかけを作ります。
企画者の宮田が4年前に住んだドイツの小さな村にはたくさんのクラブがありました。歌クラブや、バスケットクラブがあり、私は1年だけ住みましたが、そのクラブを通して町の人との交流をすることができました。この経験をこの港町で、私の仕事とする手芸という分野で、活かすことで町の人と人をつなぐきっかけになっていきます。
また、手芸文化の歴史を文献化することで、港の歴史を新たな視点で提示することが可能です。

(1) 支出の部

| 項目 | | 金額(円) | | | | | | | |
|---|--------|-------|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 外部講師謝金 | | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 円 | |
| ② | 旅費交通費 | | 6 | 4 | 6 | 8 | 0 | 円 | |
| ③ | 会議費 | | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 円 | |
| ④ | 物品購入費 | | 6 | 8 | 0 | 0 | 0 | 円 | |
| ⑤ | 借上料 | | | | | | 0 | 円 | |
| ⑥ | 保険料 | | | | | | 0 | 円 | |
| ⑦ | 人件費 | | 8 | 6 | 4 | 0 | 0 | 円 | |
| ⑧ | 委託外注費 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 円 | |
| ⑨ | 通信費 | | | | | | | 円 | |
| ⑩ | 印刷製本費 | | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 円 | |
| ⑪ | 事務費等 | | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 円 | |
| 総支出合計=A (港まちづくり協議会からの委託契約金額合計) (1ページのAと同額かご確認ください) | | | 4 | 7 | 0 | 0 | 8 | 0 | 円 |

※ 参加費を徴収する事業の方は、参加費で充当される予定の品目は入れないでください。

※ 参加費で充当される予定の品目は、(様式1)の【徴収される参加費に相当する事業費】に計上してください。

(2) 対象経費明細 ※対象経費明細のエクセル形式(様式2)の使用も可能です。

| 項目 | 経費の内訳 人数、単価、数量、回数等の明細を具体的に記入してください。 |
|----------|--|
| 1、外部講師謝金 | 手芸部講師:60,000円(2500円/日×12回×2人)1日2時間の予定 |
| 60000円 | |
| 2、旅費交通費 | スタッフ、外部委託者の交通費 部活時 36,960円(660円×2人×28回) 会議時 27,720円(660円×6人×7回) |
| 64680円 | |
| 3、会議費 | 打ち合わせ会議時のお茶代:21,000円(500円×6人×7回) |
| 21000円 | |
| 4、物品購入費 | 展示時の什器、照明、額装、写真印刷、パネル、虫ピン、展示備品 50,000円 手芸部の開催時のお茶代 18,000円(150円×5人×24回) |
| 68000円 | |
| 5、借上料 | |
| | 円 |
| 6、保険料 | |
| | 円 |
| 7、人件費 | 部活動スタッフ 86,400円(1200円×3時間×1名×24回) |
| 86400円 | |
| 8、委託外注費 | 撮影費:50,000円 文章構成費(人類学者):50,000円 |
| 100000円 | |
| 9、通信費 | |
| | 円 |
| 10、印刷製本費 | 部活動成果発表チラシ 50,000円 |
| 50000円 | |
| 11、事務費等 | 部活動時の使用文具、紙 20,000円 |
| 20000円 | |
| 総支出合計=円 | 1ページ・5ページのAと同額かご確認ください |
| 470080円 | |
| | |